

緊急事態等における通信確保のあり方について

【担当省庁】総務省

宇陀市における取組

(現状)

宇陀市は大和高原とよばれる高原地帯に位置しており、山間部に集落や観光名所が点在している（森林面積が73.8%）。

NTTドコモ・KDDI（au）・ソフトバンク及び楽天モバイルの事業者により、宇陀市内でも通話エリアの拡大を進めていただいているが、場所によっては一つの事業者しか通話ができないエリアがある。

（その他の事業者は圏外表示）

(課題)

- ①観光地において、携帯電話が繋がりにくい場所や、圏外になる場所が多くあり、必要な情報が得られないため、改善を求める声が寄せられている。
- ②住民の日常生活において、怪我や事故が発生した場合、携帯電話が繋がらず緊急通報（救助や救急車の要請等）の発信ができないことから、事業者に対して改善を求めているが、十分な対策が講じられていない。

国にお願いすること

空白地帯を解消いただけるよう以下の点について、要望する。

1. 観光地での情報収集や危機管理を行うためにも、すべての携帯電話が利用できるよう、携帯電話事業者に対し、支援策や改善を求めている。



【担当部署】 宇陀市秘書広報情報課